

4月はいろいろな「はじめて」がある月ですね。今月は「はじめての絵本」におすすめの1冊です。

『いないいないばあ』

松谷 みよ子／文 瀬川 康男／画 童心社 1967年 735円

<お勧め年齢>

幼稚園★★★ 小低学年☆☆☆ 小中学年☆☆☆ 小高学年☆☆☆ 中学生☆☆☆
高校☆☆☆ 一般☆☆☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

誰もが知っているいないいないばあ遊び。「いない いない……」で顔を隠したにゃあにゃあやくまちゃんが、ページをめくると「ばあ」と顔を出します。読み終わった後、実際に子どもといないいないばあをするとまた楽しめます。リズムカルな文章とシンプルな画で0歳児からでも楽しめる1冊です。

<子どもに手渡すときのポイント>

赤ちゃんはまだ集団でのよみきかせよりも1対1のよみきかせのほうがより楽しめるため、ぜひご家庭で膝に乗せたり、一緒に寝転んだりして読んであげてください。内容を理解させるというよりは絵本を通して赤ちゃんと一緒に読んであげる大人と一緒に遊び楽しい時間を過ごすと考えていただくと気楽にはじめられるのではないのでしょうか？

読んであげる絵本に決まりはありませんが、赤ちゃんの生活の範囲内ことが描いてあり、簡潔で美しい文章と、わかりやすく美しい絵の絵本を選ぶと赤ちゃんの反応がよくより楽しめると思います。

このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店にあります。ぜひ手に取ってみてください。



総合図書館 重村 さやか